

1. 教育目標

慢性腎臓病の病態解明と新たな治療法の開発のために、腎に発現する種々のホルモン受容体、チャネル、輸送体などの生理的機能と慢性腎不全、腎性貧血、代謝性アシドーシスなどの疾患や病態による異常の仕組みを探る。そのために腎生理学、遺伝子工学などの基本的な知識と研究テクニックを学び、腎臓病学の幅広い知識を身につけることを目標とする。又、IgA 腎症など糸球体腎炎・透析患者のコホート研究を行うための統計学的知識とテクニックを身に付け、広く臨床論文を読み解く力を修得することも目標とする。

2. 到達目標

- (1) 種々の腎臓病の病態、治療法、問題点などについての最近の知見や情報を得て、活用することができる。
- (2) Western Blot、real time PCR などの遺伝子、蛋白解析の基本的なテクニック及び siRNA、miRNA などによる RNA 干渉などの遺伝子操作法を習得する。
- (3) 研究成果を日本腎臓学会、米国腎臓学会で発表するとともに、英文誌で発表することができる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

期末に行う口頭試問により、腎臓病学全般にわたる知識を評価する。(30%)

学位論文の作成過程で発表会を開催し、進捗状況を評価する。(30%)

定期的に検討会を行い、また研究ノートを定期的に確認し研究の進行状況を判定する。(40%)

4. 教科書・参考書

- (1) RNA実験ノート。稲田利文、塩見春彦編集。羊土社。
- (2) バイオ実験イラストレイテッド6、すくすく育て細胞培養。渡邊利雄著。秀潤社。
- (3) 原理からよくわかるリアルタイムPCR 実験ガイド。北條浩彦編集。羊土社。
- (4) 臨床研究のためのStata マニュアル第2版。東尚弘、林野泰明、杉岡隆、山本洋介著。健康医療評価機構 (iHope)。
- (5) 論文を正しく読み書くためのやさしい統計学。中村多一著。診断と治療社

5. 準備学習

- (1) 指定された教科書・論文は熟読した上で授業は受ける。(1時間以上)
- (2) 研究の進捗状況は簡潔にスライドに纏めた上で分かりやすく解説を行う。(30分～1時間)

6. 備考

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【腎臓病学】

曜日	時間	期間	単位	授業区分	項目	内容	担当者	場所
月	16:15 ～17:30	通年	4	演習	腎臓病学全般	外国文献の抄読	名波講師	カンファレンスルーム
火	9:30 ～10:45	半年	2	講義	腎機能(1)	腎機能の形態、水・電解質代謝	名波講師	カンファレンスルーム
	9:30 ～10:45	半年	2	講義	腎機能(2)	腎血行動態と血管作用物質	木田助教	カンファレンスルーム
水	10:45 ～12:00	通年	2	臨床研究	腎臓病学全般	腎疾患診断法、治療法	倉賀野教授	外来
	14:30～ 17:00	通年	4	実験研究	尿毒症 関連物質	HPLC、ELISA を用いた分析法(1)	水崎助教	実験室
金	9:00 ～ 11:30	通年	4	実験研究	尿毒症 関連物質	HPLC、ELISA を用いた分析法(2)	水崎助教	実験室

(第1学年・夜間開講)

火	18:00～ 19:15	通年	4	演習	腎臓病学全般	外国文献の抄読	八尋臨床講師	カンファレンスルーム
	19:25～ 20:40	通年	2	臨床研究	腎臓病学全般	腎疾患診断法、治療法	倉賀野教授	カンファレンスルーム
水	18:00 ～19:15	半年	2	講義	腎機能(1)	腎機能の形態、水・電解質代謝	名波講師	カンファレンスルーム
	19:25～ 20:40	半年	2	講義	腎機能(2)	腎血行動態と血管作用物質	名波講師	カンファレンスルーム
木	18:00～ 20:30	通年	4	実験研究	尿毒症 関連物質	HPLC、ELISA を用いた分析法(1)	木田助教	実験室
金	18:00～ 20:30	通年	4	実験研究	尿毒症 関連物質	HPLC、ELISA を用いた分析法(2)	木田助教	実験室

(第2学年・昼間開講)

月	16:15 ～17:30	半年	2	演習	腎臓病学全般	外国文献の抄読	倉賀野教授	カンファレンスルーム
	16:15～ 17:30	半年	2	講義	腎不全全般	腎不全の診断、治療 透析療法の実際	八尋臨床講師	透析室
木	13:00～ 14:15	通年	2	臨床研究	血液浄化療法	各種血液浄化療法の適応	倉賀野教授	透析室
	14:25～ 15:40	通年	2	臨床研究	血液浄化療法	各種血液浄化療法の実際	倉賀野教授	透析室
金	13:00 ～14:15	通年	2	実験研究	腎臓病診断	腎生検診断および組織切片を用いた検査の実際(1)	木田助教	実験室
	14:25 ～15:40	通年	2	実験研究	腎臓病診断	腎生検診断および組織切片を用いた検査の実際(2)	木田助教	実験室

(第2学年・夜間開講)

火	18:00 ～19:15	半年	2	演習	腎臓病学全般	外国文献の抄読	木田助教	カンファレンスルーム
	19:25～ 20:40	半年	2	講義	腎不全全般	腎不全の診断、治療 透析療法の実際	八尋臨床講師	透析室
木	18:00 ～19:15	通年	2	臨床研究	血液浄化療法	各種血液浄化療法の適応	倉賀野教授	透析室
	19:25 ～20:40	通年	2	臨床研究	血液浄化療法	各種血液浄化療法の実際	倉賀野教授	透析室
金	18:00 ～19:15	通年	2	実験研究	腎臓病診断	腎生検診断および組織切片を用いた検査の実際(1)	水崎助教	実験室
	19:25 ～20:40	通年	2	実験研究	腎臓病診断	腎生検診断および組織切片を用いた検査の実際(2)	水崎助教	実験室